
逗子市支援シートの活用について

～逗子市の支援教育 追補版～

平成 27 年度

逗子市教育委員会 教育研究所

支援シートの活用について

支援シートは、逗子市立小中学校に在籍及び在住する援助ニーズのある児童・生徒について、より良い支援を行うために作成します。また、援助ニーズのある全ての児童・生徒について作成することが望まれます。

援助ニーズのある児童・生徒とは、特別支援学級在籍児童・生徒、通常学級在籍要配慮児童・生徒、及び支援教室、適応指導教室「なぎさ」、ことば・きこえの教室、教育研究所教育相談を利用している児童・生徒等を指します。

今回、支援シートの活用について追補版を提供することにしました。以下の要点をご理解いただければと思います。

①各項目の記入について

記入する際は、記入見本のように具体的に記入してください。具体的に記入することにより該当児童・生徒の援助ニーズの把握ができます。また、支援方針を検討する際にも役立ちます。

②記入にあたって

支援シートを記入する前に、該当児童・生徒にかかわる教職員から情報提供を受けることが望まれます。担任及び教育相談 CD の先生だけではなく、多くの先生方及び SC、うるフレ等からの情報提供を得ることで、該当児童・生徒の行動面や認知面での特性を把握することが可能になります。また、多面的な情報提供により該当児童・生徒のプロフィールの客観性を得ることに繋がります。

③援助ニーズの把握

該当児童・生徒の援助ニーズを把握するためには、保護者からの情報提供も大切です。家庭・地域での該当児童・生徒の生活状況や行動の様子などを的確に把握することが必要です。また、保護者からの情報提供を受ける場合、該当児童・生徒の課題に対し、ともに取り組んでいく基本姿勢を持つことが求められます。

保護者との信頼関係が形成されることが、援助者としての連携を生みだします。

保護者とともに該当児童・生徒のリソースを検討する経過は、支援を行っていく援助チームの質を高めていくために必要な取組です。

④支援方針について

該当児童・生徒の支援を行う際の短期目標及び長期目標は、支援方針に沿って策定してください。支援方針は、該当児童・生徒の「良いところ」を見出し、適切行動量が増加することを考慮して作成してください。これを受けて、短期及び長期目標が設定されます。

⑤チーム援助のために

支援シートは、援助ニーズのある児童・生徒の具体的支援に活用します。支援を必要とする児童・生徒に対し、学級担任だけではなく多くの援助者（教育相談 CD・並行学級担任・養教・管理職・学習支援員・うるフレ等）が対応する場面があります。一貫性のある対応（支援方針）を進めるために活用します。

記入内容

通し No	これまでに作成した支援シートを累計し、最新の番号を記入しましょう。
記入者	該当児童・生徒の担任氏名を記入しましょう。支援シート作成のチーム会議に参加した教育相談 CD、養護教諭の場合もあります。
記入日	支援シートを作成した日付を記入しましょう。
所属学級	現在所属している学級を記入しましょう。
性別	可能な場合には記入しましょう。
氏名	児童・生徒の氏名を記入しましょう。
連携機関	支援のために活用する機関を記入しましょう。
特記事項	診断名・発達検査の有無・服薬の有無等を記入しましょう。
学校/良いところ	学校生活に適応できている本人自身の力を記入しましょう。性質や性格、才能や技能、関心や願望、社会的な繋がり等の記述が望まれます。 「学校/気になるところ」よりも多くの項目を記述しましょう。
学校/気になるところ	学校生活における不適応について記入しましょう。課題を増加させるきっかけや環境がわかる場合には、それも記述しましょう。課題を低下させるきっかけや環境がわかる場合には「学校/良いところ」に記述しましょう。
家庭・他/良いところ	家庭や連携機関等に適応できている本人自身の力を記入しましょう。性質や性格、才能や技能、関心や願望、社会的な繋がり等の記述が望まれます。
家庭・他/気になるところ	家庭や連携機関における不適応について記入しましょう。課題を増加させるきっかけや環境がわかる場合には、それも記述しましょう。課題を低下させるきっかけや環境がわかる場合には「家庭・他/良いところ」に記述しましょう。
以前の支援と結果/学校	学校において取り組んだ支援の内容および効果を記入しましょう。
以前の支援と結果/家庭	家庭において取り組んだ支援の内容および効果を記入しましょう。
以前の支援と結果/他	連携機関やその他の場において取り組んだ支援の内容および効果の有無を記入しましょう。
長期目標	不適応を少しずつ軽減させ、社会適応を促すために、約6ヶ月～1年後の目標を記入しましょう。達成状況を評価できる具体的な目標設定が望まれます。
短期目標	長期目標を達成させるためのスモールステップとして、約3ヶ月後の目標を記入しましょう。達成状況を評価できる具体的な目標設定が望まれます。
支援方針	援助チームの各自が共有している支援方針を記入しましょう。
支援方法/学校	短期目標と支援方針に基づいて、学校における支援方法を記入しましょう。管理職、CD、養護教諭、担任、学習支援員等の役割分担を具体的に記述しましょう。
支援方法/家庭	短期目標と支援方針に基づいて、家庭における支援方法を記入しましょう。保護者・親族等の役割分担を具体的に記述しましょう。
支援方法/地域・連携機関等	短期目標と支援方針に基づいて、地域や連携機関における支援方法を記入しましょう。ことば・きこえの教室、支援教室、研究所教育相談、SC 等の役割分担を具体的に記述しましょう。
継続/終結	今後の支援の必要程度を評価して、丸をつけましょう。支援が必要な場合には「継続」を、支援が不要な場合には「終結」を選択しましょう。
保護者の署名	保護者の署名を記入しましょう。

通しNo. _____ 記入者:〇〇〇〇(担任の氏名) 記入日: 2016年 9月 9日

所属学級	氏名	特記事項
〇〇〇〇	〇〇〇〇	(2012年11月、〇〇クリニックにて)
連携機関		

記入漏れです。何枚目かを記入しましょう。

記入漏れです。支援のために利用中の連携機関を記入しましょう。

	良いところ	気になるところ
学校	興味のあることしかやらない。	算数の授業で離席してしまう。 緊張するのが苦手。
家庭・他	妹の面倒を良く見る。 休日には友達と家で一緒にゲームをする。	

具体的に記述しましょう。

具体的に記述しましょう。

これからの支援ではなく、今までの支援と結果を記述しましょう。

以前の支援と結果	学校	教室で学習できないときには、落ち着いて学習できる環境を設定する。
	家庭	
	他	

具体的に記述しましょう

長期目標	次の学校行事に参加する。			
短期目標	定期的な活動に参加する。			
支援方針	社会性を養わせる。			
支援方針と今後の方針	誰が	期限/期間	支援方法	
	学校			
	家庭	保護者	運動会まで	参加できたことを認める声かけを行う。
	地域・連携機関等			

具体的な評価基準を記述しましょう。

具体的に記述しましょう。

学校でできる支援も記述しましょう。

継続

経過観察

保護者の署名をもらいましょう。

上記のことについて確認し

保護者氏名

逗子市支援シート

通しNo.2

記入者:〇〇〇〇(担任の氏名)

記入日: 2016年 9月 9日

所属学級	性別	氏名	特記事項
1-2	男	〇〇〇〇	ASD(2012年11月、〇〇クリニックにて)
連携機関	療育、〇〇クリニック		

	良いところ	気になるところ
学校	クラスの男児とは、ドッジビー等の遊びができる。	算数の授業で離席してしまう。 全体や学年で集まるような行事への参加が難しい。
家庭・他	妹の面倒を良く見る。 休日には友達と家で一緒にゲームをする。	

以前の支援と結果	学校	少人数教室を利用すると、離席をせず算数の課題に取り組むことができた。
	家庭	
	他	

支援方針と今後の方針	長期目標	10月の運動会に参加する。			
	短期目標	ダンスの練習に週1回参加する。			
	支援方針	少しの時間でも練習の場所にいられたら、承認する声かけを行う。			
			誰が	期限/期間	支援方法
	学校	担任	運動会まで	前日までに、本人と運動会練習の内容を確認する。	
		養護教諭	運動会まで	参加できずに保健室に来たときに、「途中までがんばれたね」等の声かけをする。	
家庭	保護者	運動会まで	参加できたことを認める声かけを行う。		
地域・連携機関等					

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。

保護者氏名

〇〇〇〇

記入例2修正前

逗子市立... ト

通しNo.2

記入者:

2016年 4月 25日

所属学級	性別	氏名	特記事項
3-1	男	〇〇〇〇	
連携機関	ADHD(2010年5月、〇〇病院にて)		

記入漏れです。校内の
援助チームの氏名を記
入しましょう。

記入漏れです。ことば・
きこえを利用の場合も記
入しましょう。

	良いところ	気になるところ
学校	遅刻や欠席がない。 家庭学習の内容を積極的に発表する。 興奮しても大丈夫。	幼い。
家庭・他	空手の...とがない。	興奮すると物を投げて壁を破壊してしまう。

具体的に記述
しましょう。

具体的に記述
しましょう。

以前の 支援と結果	学校	授業中に職員室に物を取りに行く役割を与えてから、大声を出す行動が減少した。
	家庭	
	他	

記入漏れです。連携機関における
支援と結果を記述しましょう。

記入する場所が違います。方針は
「支援方針」に記述しましょう。

支援方針と 今後の方針	長期目標	学校が安心・安全を提供する。
	短期目標	他の子どもから逃げる。
		い場所と時間を確保する。

具体的な評価基準を記述しましょう。

校内の役割分担を具体
的に記述しましょう。

具体的に記述し
ましょう。

	誰が	期限/期間	支援方法
支援方針と 今後の方針	学校	7月まで	落ち着かせる。
	家庭	7月まで	破壊行動の前に自分の気持ちの表現をしたときに肯定的な声かけをする。
	地域・ 連携機関 等	ことば・きこえ 7月まで	困ったときに援助要求できるようにトレーニングする。

継続

経過観察

終結(年 月 日)

これからの支援を評価し
て、丸をつけましょう。

上記のことについて確認しました。

保護者氏名

〇〇〇〇

逗子市支援シート

通しNo.2

記入者:〇〇〇〇(担任の氏名)

記入日:

2016年 4月 25日

所属学級	性別	氏名	特記事項
3-1	男	〇〇〇〇	ADHD(2010年5月、〇〇病院にて)
連携機関	〇〇病院、ことば・きこえの教室		

	良いところ	気になるところ
学校	遅刻や欠席がない。 家庭学習の内容を積極的に発表する。 興奮したときは図書室やトイレに移動して落ち着くことができる。	じゃんけんには負けると相手を殴ってしまう。 思い通りにならないと大声を出す。
家庭・他	空手の稽古を欠席したことがない。	興奮すると物を投げて壁を破壊してしまう。

以前の支援と結果	学校	授業中に職員室に物を取りに行く役割を与えてから、大声を出す行動が減少した。
	家庭	
	他	ことば・きこえの教室において、自分の気持ちを言葉にする練習をすることで、クラスメイトを殴ってしまう頻度が低下した。

支援方針と今後の方針	長期目標	自分でクールダウンできるようになる。	
	短期目標	中休みと昼休みは保健室で過ごす。	
支援方針	周囲の児童から刺激されない場所と時間を確保する。		
		誰が	期限/期間
学校	担任	7月まで	休み時間には保健室で過ごすように促す。
	養護教諭	7月まで	クールダウン中は他の児童の関わりから遠ざける。
家庭	保護者	7月まで	破壊行動の前に自分の気持ちの表現をしたときに肯定的な声かけをする。
	ことば・きこえ	7月まで	困ったときに援助要求できるようにトレーニングする。
地域・連携機関等			

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。

保護者氏名

〇〇〇〇

保護者以外で、校内の援助チームの氏名を記入しましょう。

所属学級	性別	氏名	付記事項
4-2	女	〇〇〇〇	
連携機関	支援教室、巡回SC		はさみを使えない

良いところ

学校	まじめ。 促音書字がツクからはみでることが多い。 巡回SCが発達検査をした。
----	--

具体的に記述しましょう。

記入する場所が違います。課題は「気になるところ」に記述しましょう。

記入する場所が違います。発達検査の結果や診断名は、「特記事項」に記述しましょう。

家庭・他	将来はデザイナーになりたいくて、絵を描く練習している。
------	-----------------------------

以前の支援と結果	学校	落ち着いてきた。
	家庭	お手伝いはダメだった。
	他	支援教室で手と目の協応のトレーニングをして、手の器用さが上達した。

結果だけでなく、以前の支援についても具体的に記述しましょう。

結果だけでなく、以前の支援についても具体的に記述しましょう。

長期目標	授業中に板書する時間を増やす。
短期目標	課題ができないときに机に伏せることを減らす。
支援方針	手先を使う課題のときに援助する。

減らしたいことが「課題ができないとき」なのか「机に伏せること」なのかが不明瞭です。1つの文には1つのトピックを記述しましょう。

支援方針と今後の方針	誰が	期限/期間	支援方法
	学校	担任	前期まで
家庭			
地域・連携機関等			

担任以外の役割分担も記述しましょう。

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。
保護者氏名 〇〇〇〇

逗子市支援シート

通しNo.1

記入者:〇〇〇〇(担任の氏名)

記入日: 2016年 6月 15日

所属学級	性別	氏名	特記事項
4-2	女	〇〇〇〇	FIQは境界域(巡回SCがWISC-Ⅲ、2013年2月)
連携機関	支援教室、巡回SC		

	良いところ	気になるところ
学校	音楽や体育に積極的に参加する。 給食係の活動に積極的に参加する。 友達を保健室に連れて行くことができる。	促音のある語句の音読に苦戦している。 はさみで線を切るのが苦手。 書字がワクからはみでることが多い。
家庭・他	将来はデザイナーになりたいくて、絵を描く練習をしている。	食べ物をこぼしてしまうことが多い。

以前の支援と結果	学校	マス目の大きなノートを用意したら、ノートテイクの頻度が改善した。
	家庭	洗濯物のお手伝いをさせて、タオルを畳むことができるようになった。
	他	支援教室で手と目の協応のトレーニングをして、手先の器用さが上達した。

支援方針と今後の方針	長期目標	授業中に板書する時間を増やす。			
	短期目標	「わからない」「教えて」と発言できるようにする。			
支援方針と今後の方針	支援方針	手先を使う課題のときに援助する。			
	学校	誰が	期限/期間	支援方法	
		担任	前期まで	机間支援で「わからないところがある？」等の声かけをする。	
	家庭	保護者	前期まで	食器のあげさげを一緒に行う。	
		地域・連携機関等	SC	前期まで	面談を継続して、援助ニーズについて保護者と確認する。
	支援教室		前期まで	手と目の協応を中心にしたトレーニングをする。	

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。

保護者氏名

〇〇〇〇

所属学級	性別	氏名	特記事
5-4	男	〇〇〇〇	うつ病(年度内のもっと早い時期に作成しましょう。)
連携機関	〇〇クリニック、教育研究所相談部		

	良いところ	気になるところ																		
学校	クラスメイトとは挨拶できる。 保健室に行く回数が少なくなった。	対人関係。 目の見え方。																		
家庭・他		体重が減少している。 ぼーっとする。																		
以前の支援と結果	<p>記入する場所が違います。結果は「以前の支援と結果」に記述しましょう。</p> <p>課題の記述のみでは支援になりません。可能であれば、課題を増減させる環境も記述しましょう。</p> <p>記入漏れです。支援のためには必要な情報ですので、記入しましょう。</p> <p>具体的に記述しましょう。</p>																			
支援方針と今後の方針	長期目標	クラスメイトと話せるようになる。																		
	短期目標	クラスメイトの配慮に「ありがとう」と言えるようになる。																		
	支援方針	気持ちをサポートしていく。 ← 具体的に記述しましょう。																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>誰が</th> <th>期限/期間</th> <th>支援方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担任</td> <td>7月まで</td> <td>授業の場面で、肯定的な声かけを増やす。</td> </tr> <tr> <td>養護教諭</td> <td>7月まで</td> <td>保健室の中で「ありがとう」を言えたことを肯定的に評価する。</td> </tr> <tr> <td>学校</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>家庭</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域・連携機関等</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>← 学校以外の役割分担も記述しましょう。</p>		誰が	期限/期間	支援方法	担任	7月まで	授業の場面で、肯定的な声かけを増やす。	養護教諭	7月まで	保健室の中で「ありがとう」を言えたことを肯定的に評価する。	学校			家庭			地域・連携機関等		
誰が	期限/期間	支援方法																		
担任	7月まで	授業の場面で、肯定的な声かけを増やす。																		
養護教諭	7月まで	保健室の中で「ありがとう」を言えたことを肯定的に評価する。																		
学校																				
家庭																				
地域・連携機関等																				

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。

保護者氏名

〇〇〇〇

所属学級	性別	氏名	特記事項
5-4	男	〇〇〇〇	うつ病(2013年4月、〇〇クリニック) 服薬中
連携機関	〇〇クリニック、教育研究所相談部		

	良いところ	気になるところ
学校	クラスメイトとは挨拶できる。 特定の男児とカードゲームで遊ぶことができる。 黒板の正面の席だと視写できる。	クラスの女児との会話が少ない。 廊下側や窓側の席だと視写が難しい。
家庭・他	兄の冗談には、大きな声で笑うことがある。 帰宅して30分くらいたつと、学校での出来事を話し始める。	体重が減少している。 帰宅直後に話しかけてもあまり答えない。

以前の支援と結果	学校	クラスメイトとの遊びを評価する声かけを養護教諭が続けて、保健室を利用する回数が1日に3回に減った。
	家庭	兄が、学校での楽しいことを聞くようにすると、会話する時間が増えた。
	他	相談部でプレイセラピーを継続して、自分の気持ちを表現できるようになってきた。

支援方針と今後の方針	長期目標	クラスメイトと話せるようになる。			
	短期目標	クラスメイトの配慮に「ありがとう」と言えるようになる。			
支援方針		肯定的な表現をしたときに、承認の声かけをする。			
			誰が	期限/期間	支援方法
	学校	担任	7月まで	授業の場面で、肯定的な声かけを増やす。	
		養護教諭	7月まで	保健室の中で「ありがとう」と言えたことを肯定的に評価する。	
	家庭	保護者	7月まで	「ありがとう」と言えたときに肯定的な声かけをする。	
		相談部	12月まで	週に1回研究所へ出かけ、相談員と会話する。	
	地域・連携機関等				

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。

保護者氏名

〇〇〇〇

所属学級	性別	氏名	特記事項
中1	女	校内の援助チームの氏名を記入しましょう。 適応指導教室なぎさ	記入する場所が違います。方針は「支援方針」に記述しましょう。

学年ではなく学級も記入しましょう。

良いところ	気になるところ
-------	---------

学校
なぎさの物作り体験に積極的に参加する。

登校時には他学年の教員も声かけする。1週間連続で欠席してしまうことがある。クラスメイトともっと話す必要がある。

「長期目標」や「短期目標」に記述しましょう。

家庭・他
記入漏れです。支援に必須な情報です。記入しましょう。

以前
支援と結果
学校 小学校では支援教室を利用して登校できていた。

昨年度の情報だけでなく、今年度中の支援と結果も記述しましょう。

他 興味のあるアイドルの話題を出すようにしたら、なぎさでの会話が増えた。

長期目標 帰属意識を持つ。 ← 具体的に記述しましょう。

短期目標 金曜日の午前中に登校し担任と会う。

支援方針 全ての教員が登校する。 ← 具体的に記述しましょう

	誰が	期限/期間	支援方法
--	----	-------	------

学校 担任 登校時に対応する。

CD 計画を用意する。 ← 具体的に記述しましょう。

養護教諭 登校時に保健室で世間話をして、緊張を緩和させる。

家庭

地域・連携機関等
なぎさ CDが用意したプリント課題を進める。

期限/期間を記述しましょう。

継続

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。
保護者氏名 ○○○○

逗子市支援シート

通しNo.3

記入者:〇〇〇〇(CDの氏名)

記入日: 2016年 9月 5日

所属学級	性別	氏名	特記事項
1-E	女	〇〇〇〇	
連携機関	適応指導教室なぎさ		

	良いところ	気になるところ
学校	学校行事にはほとんど参加できる。 放課後に登校することができる。	1週間連続で欠席してしまうことがある。
家庭・他	なぎさの物作り体験に積極的に参加する。	就寝時間が深夜3時。

以前の支援と結果	学校	小学校では支援教室を利用して登校できていた。中学校では、予め行事等内容を確認して、7月までの学校行事に参加できた。
	家庭	
	他	興味のあるアイドルの話題を出すようにしたら、なぎさでの会話が増えた。

支援方針と今後の方針	長期目標	クラスメイトとのコミュニケーションを増やす。		
	短期目標	金曜日の午前中に登校し担任と会う。		
	支援方針	全ての教員が登校に対して肯定的な声かけをする。		
		誰が	期限/期間	支援方法
	学校	担任	12月まで	保健室で好きなアイドルの話をする。
		CD	12月まで	登校時には保健室で過ごせるようにし、次の時間から別室で学習できるように歴史と漢字のプリントを用意する。
		養護教諭	12月まで	登校時に保健室で世間話をして、緊張を緩和させる。
家庭				
地域・連携機関等	なぎさ	12月まで	CDが用意したプリント課題を進める。	

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。

保護者氏名

〇〇〇〇

所属学級	性別	氏名	特記事項
〇〇	女	〇〇〇〇	
		〇〇クリニック	

年度ごとに数える必要はありません。累計枚数を記述しましょう。

記入する場所が違います。診断名は「特記事項」に記述しましょう。

	良いところ	気になるところ
学校	課題の記述のみでは支援になりません。どういう環境や状況があれば、課題が軽減するのもかも記述しましょう。	統合失調症 リストカット 遅刻 忘れ物 大人数が参加する行事が苦手。
家庭・他	家庭での学習を毎日行っている。薬は自分で毎日飲んでいる。	人が苦手。

具体的に記述しましょう。

以前の支援と結果	学校	服薬してから、遅刻が減少した。また小人数の活動には参加できるようになってきた。
	家庭	H24には服薬を忘れることが多かったが、母親が声かけして確認するようになってから忘れることがない。
	他	クリニックで処方された薬を飲んでから、リストカットの回数が減少した。

具体的に記述しましょう。

支援方針と今後の方針	長期目標	普通に学校生活を送る。		
	短期目標	グループ活動や小人数での活動に週2回以上参加する。		
	支援方針	何らかの形で参加させる。		
		誰が	期限/期間	支援方法
	学校	養護教諭	夏休みまで	リラックス。
	CD	夏休みまで	個別対応。	
	担任	夏休みまで	放課後対応。	
	うるフレ	夏休みまで	相談室対応。	
家庭				
地域・連携機関等				

具体的に記述しましょう。

継続 経過観察 終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。
保護者氏名 〇〇〇〇

逗子市支援シート

通しNo.4

記入者:〇〇〇〇(CDの氏名)

記入日: 2016年 5月 6日

所属学級	性別	氏名	特記事項
3-A	女	〇〇〇〇	統合失調症(2012年9月、〇〇クリニックにて)
連携機関	〇〇クリニック		

	良いところ	気になるところ
学校	教員が女性の場合、遅刻せずに参加できる。 前日に教員が確認すると忘れ物が少ない。	日曜から月曜にかけてリストカットする頻度が高い。 1時間目の授業の教員が男性の場合に遅刻をする。 同じ学年の生徒の視線を回避する。
家庭・他	家庭での学習を毎日行っている。 薬は自分で毎日飲んでいる。	祖父や父と会話する場面になると逃げてしまう。

以前の支援と結果	学校	服薬してから、遅刻が減少した。また少人数の活動には参加できるようになってきた。
	家庭	H24には服薬を忘れることが多かったが、母親が声かけして確認するようになってから忘れることがない。
	他	クリニックで処方された薬を飲んでから、リストカットの回数が減少した。

支援方針と今後の方針	長期目標	卒業式に参加する。		
	短期目標	グループ活動や少人数での活動に週2回以上参加する。		
	支援方針	苦手な活動に参加できる時間を少しずつ増やし、参加できた実感を持たせる。		
		誰が	期限/期間	支援方法
	学校	養護教諭	夏休みまで	少人数の活動後に保健室を使ってクールダウンさせる。
		CD	夏休みまで	支援教室で他学年の生徒と数学のプリントを進める。
		担任	夏休みまで	火曜日の放課後にクラスメイトと補充学習をする。
うるフレ		夏休みまで	授業中に教室を抜け出した場合に保健室か相談室に誘導する。	
家庭				
地域・連携機関等				

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。

保護者氏名

〇〇〇〇

所属学級	性別	氏名	特記事項
支援級1年	男	○○○○	ASD(2014年10月、○○病院にて)
連携機関	○○病院		

	良いところ	気になるところ
学校	ひらがなで短文を書くことができる。 興味のある漢字を読むことができる。 コーヒー牛乳が飲める。 クラスメイトに話しかけられたら反応できる。	水が嫌い。 急がせられたり触られたりすると、パニックになり大声を出す。
家庭・他	努力家。 静かな部屋だと集中して宿題ができる。	弱音をはかない。

具体的に記述しましょう。

以前の支援と結果	学校	支援級でのパニック回数は減少してきたが、交流級のパニック回数はあまり変わらない。
	家庭	母親と一緒に翌日の教材を準備できるようになってきた。

具体的な評価基準を記述しましょう。

支援方針と今後の方針	長期目標	学校生活に慣れる。		
	短期目標	1年生に慣れる。		
	支援方針	支援級の落ち着いた環境で学習できる機会を確保する。		
		誰が	期限/期間	支援方法
	学校	支援級担任	5月まで	本児の安全を図る。
	交流級担任	5月まで	トラブルにならないように、授業中に離席する児童を減らす。	
	家庭			
	地域・連携機関等			

具体的な評価基準を記述しましょう。

具体的に記述しましょう。

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。
保護者氏名 ○○○○

所属学級	性別	氏名	特記事項
支援級1年	男	〇〇〇〇	ASD(2014年10月、〇〇病院にて)
連携機関	〇〇病院		

	良いところ	気になるところ
学校	ひらがなで短文を書くことができる。 興味のある漢字を読むことができる。 コーヒー牛乳が飲める。 クラスメイトに話しかえられたら反応できる。	水を飲むのが苦手。 急に押されたり触られたりすると、パニックになり大声を出す。 遅刻が多い。 疲れやすい。
家庭・他	努力家。 静かな部屋だと集中して宿題ができる。	弱音をはかない。

以前の支援と結果	学校	支援級でのパニック回数は減少してきたが、交流級のパニック回数はあまり変わらない。
	家庭	母親と一緒に翌日の教材を準備できるようになってきた。
	他	

支援方針と今後の方針	長期目標	パニックの回数が減少する。		
	短期目標	支援級での学習時間が増える。		
	支援方針	支援級の落ち着いた環境で、安心して学習できる機会を確保する。		
		誰が	期限/期間	支援方法
	学校	支援級担任	5月まで	動きの多くなる交流級の授業のときには、支援級で学習させる。
		交流級担任	5月まで	トラブルにならないように、授業中に離席する児童を減らす。
家庭				
地域・連携機関等				

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。

保護者氏名

〇〇〇〇

所属学級	性別	氏名	特記事項
支援級3年	男	〇〇〇〇	知的障害(2014年、〇〇病院)斜視
連携機関	〇〇病院		

	良いところ	気になるところ
学校	他の子どもと関わることが好き。 言われなくてもお手伝いができる。 様々な仕草で自分の意志を伝えることができる。 指示を理解する。	発語がない。 排泄自立していない。 食事の際の咀嚼回数が少ない。 パニックになると自分の頭を叩く。
家庭・他	掃除ができる。 〇〇と楽しんで参加できる。	パニックになると妹を叩く。

具体的に記述
しましょう。

以前の 支援と結果	学校	排泄の機会をこまめに設定していて、最近では自分でトイレの絵カードを職員に渡すようになってきた。 給食では、一口大に切ってあげると、パニックを起こさずに食事を楽しむことができている。
	家庭	排泄の機会をこまめに設定していて、最近では自分でトイレのカードを母親に渡すようになってきた。 頭を叩かずに、おやつカードを渡すことが増えてきた。
	他	

多すぎます。
3か月後に達成できそうな2つまでに項目を絞りましょう。

支援方針と 今後の方針	長期目標	大人に渡せるカードを4種類にする。		
	短期目標	排泄時のパンツの上げ下げを行う。自分で着替える。教材準備を自分で行う。バランス良く歩く。自分で給食を一口大にする。パニックにならない。叩かない。好きな教科を増やす。おかわりをする。		
	支援方針	ジェスチャーと絵カードを家庭と学校で共有する。		
		誰が	期限/期間	支援方法
	学校	支援級担任	5月まで	給食は一口大にしてから本時の前に用意する。
	支援員	5月まで	絵カードを使ってコミュニケーションするモデルを見せる。	
家庭	両親	9月まで	妹を叩かせない。	
地域・ 連携機関 等				

具体的に記述
しましょう。

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。
保護者氏名 〇〇〇〇

所属学級	性別	氏名	特記事項
支援級3年	男	〇〇〇〇	知的障害(2014年、〇〇病院)斜視
連携機関	〇〇病院		

	良いところ	気になるところ
学校	他の子どもと関わることが好き。 言われなくてもお手伝いができる。 様々な仕草で自分の意志を伝えることができる。 説明を受けているときにうなづくことができる。	発語がない。 排泄自立していない。 食事の際の咀嚼回数が少ない。 パニックになると自分の頭を叩く。
家庭・他	父と一緒に風呂掃除ができる。 絵の多いカルタだと楽しんで参加できる。	パニックになると妹を叩く。

以前の支援と結果	学校	排泄の機会をこまめに設定していて、最近では自分でトイレの絵カードを職員に渡すようになってきた。 給食では、一口大に切ってあげると、パニックを起こさずに食事を楽しむことができている。
	家庭	排泄の機会をこまめに設定していて、最近では自分でトイレのカードを母親に渡すようになってきた。 頭を叩かずに、おやつカードを渡すことが増えてきた。
	他	

支援方針と今後の方針	長期目標	大人に渡せるカードを4種類にする。																																		
	短期目標	絵カードを使って、給食のおかわりができるようになる。 絵カードを渡してからトイレに行けるようになる(1日2回以上)。																																		
	支援方針	ジェスチャーと絵カードを家庭と学校で共有する。																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>誰が</th> <th>期限/期間</th> <th colspan="2">支援方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">支援級担任</td> <td>5月まで</td> <td colspan="2">給食は一口大にしてから本時の前に用意する。</td> </tr> <tr> <td>5月まで</td> <td colspan="2">絵カードを使ってコミュニケーションするモデルを見せる。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">学校</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">家庭</td> <td>両親</td> <td>9月まで</td> <td>「遊ぼう」と書かれた絵カードを妹に渡せたときに褒める。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地域・連携機関等</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				誰が	期限/期間	支援方法		支援級担任	5月まで	給食は一口大にしてから本時の前に用意する。		5月まで	絵カードを使ってコミュニケーションするモデルを見せる。		学校							家庭	両親	9月まで	「遊ぼう」と書かれた絵カードを妹に渡せたときに褒める。				地域・連携機関等						
	誰が	期限/期間	支援方法																																	
支援級担任	5月まで	給食は一口大にしてから本時の前に用意する。																																		
	5月まで	絵カードを使ってコミュニケーションするモデルを見せる。																																		
学校																																				
家庭	両親	9月まで	「遊ぼう」と書かれた絵カードを妹に渡せたときに褒める。																																	
地域・連携機関等																																				

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。

保護者氏名

〇〇〇〇

所属学級	性別	氏名	特記事項
支援級5年	女	〇〇〇〇	ダウン症、知的障害(A2)、聴覚障害
連携機関			

	良いところ	気になるところ
学校	人と関わることが好き。 笑顔が多い。 知っている人には自分から挨拶する。 パズルにとっても集中する。 声かけや促しをするとわからないことを質問できる。	進行方向にいる他の児童を押ししてしまうことがある。 複数の音があったり、音量が大きかったりすると、その場で座り込んで動かなくなってしまう。 順番を守らず遊具を使ってしまうことがある。 参加が難しい場面で性器いじりをしてしまうことがある。
家庭・他	家事を積極的に手伝う。 皆と一緒に食事を楽しむことができる。 体を動かす活動が好き。	駅や病院などで走ってしまう。 何もせず座って待つのが苦手。

以前の支援と結果	学校	給食放送の音量を小さくしたら、固まってしまうことが減少し、食べる給食の量が増えた。 急な校内放送時には未だに固まってしまう、リラックスできるまでに1時間程度かかる。
	家庭	週末に父親と公園で遊ぶようにしてから、走るのが早くなった。 呼びかけるときには、肩に手を置きながらだと吃驚しない。 ビデオを見せる。

教員の心がけは、支援方針に記述しましょう。

支援方針と今後の方針	長期目標	見通しの持てる授業を行う。			
	短期目標	砂時計を見せながら1分間座れるようになる。			
	支援方針	過度な聴覚情報を提供しないようにする。またそのための道具を常に用意する。 パズルを解くときに、1分以上座れたら、シールを表に貼る。			
			誰が	期限/期間	支援方法
	学校	支援級担任	5月まで	音楽の時間や給食放送時には耳栓やイヤーマフを使用させる。	
学習支援員		5月まで	本人の不安をほぐす。		
家庭				<div data-bbox="609 1518 836 1682" data-label="Text"> <p>具体的に記述しましょう。</p> </div>	
地域・連携機関等					

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。
保護者氏名 〇〇〇〇

所属学級	性別	氏名	特記事項
支援級5年	女	〇〇〇〇	ダウン症、知的障害(A2)、聴覚障害
連携機関			

	良いところ	気になるところ
学校	人と関わることが好き。 笑顔が多い。 知っている人には自分から挨拶する。 パズルにとっても集中する。 声かけや促しをするとわからないことを質問できる。	自分の進行方向にいる他の児童を押してしまうことがある。 複数の音があつたり、音量が大きかつたりすると、その場で座り込んで動かなくなってしまう。 順番を守らず遊具を使ってしまうことがある。 参加が難しい場面で性器いじりをしてしまうことがある。
家庭・他	家事を積極的に手伝う。 皆と一緒に食事を楽しむことができる。 体を動かす活動が好き。	駅や病院などで走ってしまう。 何もせず座って待つのが苦手。

以前の支援と結果	学校	給食放送の音量を小さくしたら、固まってしまうことが減少し、食べる給食の量が増えた。 急な校内放送時には未だに固まってしまう、リラックスできるまでに1時間程度かかる。
	家庭	週末に父親と公園で遊ぶようにしてから、走るのが早くなった。 呼びかけるときには、肩に手を置きながらだと吃驚しない。 ビデオを見せる。
	他	

支援方針と今後の方針	長期目標	順番を守ってバランスボールを用いた活動ができるようになる。																						
	短期目標	砂時計を見せながら1分間座れるようになる。																						
	支援方針	過度な聴覚情報を提供しないようにする。またそのための道具を常に用意する。 見通しの持てる授業を行う。 パズルを解くときに、1分以上座れたら、シールを表に貼る。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>誰が</th> <th>期限/期間</th> <th colspan="2">支援方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援級担任</td> <td>5月まで</td> <td colspan="2">音楽の時間や給食放送時には耳栓やイヤーマフを使用させる。</td> </tr> <tr> <td>学校 学習支援員</td> <td>5月まで</td> <td colspan="2">指しゃぶりや性器いじりをしているときに「ここまではできたね。わからないところはあある？」と尋ねる。</td> </tr> <tr> <td>家庭</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>				誰が	期限/期間	支援方法		支援級担任	5月まで	音楽の時間や給食放送時には耳栓やイヤーマフを使用させる。		学校 学習支援員	5月まで	指しゃぶりや性器いじりをしているときに「ここまではできたね。わからないところはあある？」と尋ねる。		家庭							
	誰が	期限/期間	支援方法																					
支援級担任	5月まで	音楽の時間や給食放送時には耳栓やイヤーマフを使用させる。																						
学校 学習支援員	5月まで	指しゃぶりや性器いじりをしているときに「ここまではできたね。わからないところはあある？」と尋ねる。																						
家庭																								

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。

保護者氏名 〇〇〇〇

所属学級	性別	氏名	特記事項
支援級1年	女	〇〇〇〇	療育手帳(A2) 股関節脱臼のため手術(平成〇〇年、〇〇病院)
連携機関	デイサービス・送迎サービス		

	良いところ	気になるところ
学校	電動車いすを使用して、自分で移動できる。 食べ物をスプーンですくって口元まで持っていくと、口を開けて食べることができる。 手でものを持って動かす動作ができる。 音楽の時間が大好き。 タッチペンを使うとタブレットを使用できる。	体温調節が難しい。 偏食がある。 手で握る力が弱い。 発声して要求することは少ない。
家庭・他	体調不良時には何とか伝えようとする。 短い時間であれば座位を保持できる。 自分の要求を声に出して伝えることがある。 絵本が大好き。	食べられる野菜の種類が少ない。 体調を崩したときに痰がからみやすい。

以前の支援と結果	学校	交流級が盛り上がりすぎていると、本人も興奮してしまうことがあるので、支援級で過ごす時間を多めに設けた。
	家庭	決めつけをせず、食べたいおやつや見たいテレビ番組を選択させる機会を設けてきたら、最近では明確にタブレットで選択するようになってきた。
	他	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 具体的に記述しましょう。 </div>

支援方針と今後の方針	長期目標	学習への興味を持つ。		
	短期目標	給食時の好き嫌いをタブレットを用いて意思表示する。 音楽の授業に参加したいときに、タブレットを用いて意思表示する。		
	支援方針	特別な配慮を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> 具体的に記述しましょう。 </div>		
		誰が	期限/期間	支援方法
	学校	支援級担任	5月まで	特別な配慮を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> 具体的に記述しましょう。 </div>
	支援員	5月まで	様子を見てサポートする。	
	家庭			
	地域・連携機関等			

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。

保護者氏名

〇〇〇〇

逗子市支援シート

通しNo.3 記入者:〇〇〇〇(支援級担任の氏名) 記入日: 2016年 4月 18日

所属学級	性別	氏名	特記事項
支援級1年	女	〇〇〇〇	療育手帳(A2) 股関節脱臼のため手術(平成〇〇年、〇〇病院)
連携機関	デイサービス・送迎サービス		

	良いところ	気になるところ
学校	電動車いすを使用して、自分で移動できる。 食べ物をスプーンですくって口元まで持っていくと、口を開けて食べることができる。 手でものを持って動かす動作ができる。 音楽の時間が大好き。 タッチペンを使うとタブレットを使用できる。	体温調節が難しい。 偏食がある。 手で握る力が弱い。 発声して要求することは少ない。
家庭・他	体調不良時には何とか伝えようとする。 短い時間であれば座位を保持できる。 自分の要求を声に出して伝えることがある。 絵本が大好き。	食べられる野菜の種類が少ない。 体調を崩したときに痰がからみやすい。

以前の支援と結果	学校	交流級が盛り上がりすぎていると、本人も興奮してしまうことがあるので、支援級で過ごす時間を多めに設けた。
	家庭	決めつけをせず、食べたいおやつや見たいテレビ番組を選択させる機会を設けてきたら、最近では明確にタブレットで選択するようになってきた。
	他	

支援方針と今後の方針	長期目標	自己決定行動が増える。		
	短期目標	給食時の好き嫌いをタブレットを用いて意思表示する。 音楽の授業に参加したいときに、タブレットを用いて意思表示する。		
支援方針	決めつけをせずに、自己決定・自己選択場面を設定する。 意思表示を援助するタブレットおよびアプリを用意する。			
		誰が	期限/期間	支援方法
学校	支援級担任	5月まで	給食時にタッチペンを渡し、食べたいものをタブレットで二者択一させる。	
	支援員	5月まで	自己選択をした行動を表にして本人の努力が見える形にする。	
家庭				
地域・連携機関等				

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。

保護者氏名

〇〇〇〇

所属学級	性別	氏名	特記事項
支援級3年	女	〇〇〇〇	知的障害(〇〇クリニック、2008年) 療育手帳(A2)
連携機関	〇〇クリニック		

	良いところ	気になるところ
学校	笑顔が多い。 呼名されて挙手ができる。 絵を描くことが好き。 何事にも意欲的に取り組む。 動物や車などの具体的なもののマッチングができる。	歩行が不安定で転びやすい。 飽きているとき、気になるものがあるとすぐに触ってしまう。 やる気がない。
家庭・他	なんでもよく食べる。 学校であったことを報告できる。 祖母になついている。	所では落ち着かない。 事実と異なる内容を話すことがある。 すぐに疲れてしまい、途中で眠ってしまうことがある。

具体的に記述しましょう。

以前の支援と結果	学校	プリントが1枚終わると絵を1枚描いてよいというルールを作ってから、遅刻や欠席が減少している。 道具を危険に扱って、ケガをすることが増えてきた。
	家庭	多すぎます。 6ヶ月～1年後に達成可能な項目1つ程度に絞りましょう。
	他	も着替えや洗顔をできるようになった。

支援方針と今後の方針	長期目標	排尿排便を伝える。安全に歩く。危険がわかる。手洗いをする。人の目を見る。体を揺すらない。		
	短期目標	危険察知能力をつける	抽象的です。問題行動が減少するような、代替りの適切行動を具体的に設定し、誰が見ても検証できる目標を作成しましょう。	
	支援方針	安全を図るために大人が付き添う。 飽きないように、短時間で達成できる課題を多めに用意して、適宜切り替える。		
		誰が	期限/期間	支援方法
	学校	支援級担任	5月まで	「教えて」「できた」「飽きた」と伝えたり報告できたときに、ほめる。
	支援員	5月まで	プリント学習が止まっているときに「教えて?って聞けるといいね」と伝える。	
	家庭			
	地域・連携機関等			

継続 経過観察 終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。
保護者氏名 〇〇〇〇

所属学級	性別	氏名	特記事項
支援級3年	女	〇〇〇〇	知的障害(〇〇クリニック、2008年) 療育手帳(A2)
連携機関	〇〇クリニック		

	良いところ	気になるところ
学校	笑顔が多い。 呼名されて挙手ができる。 絵を描くことが好き。 何事にも意欲的に取り組む。 動物や車などの具体的なもののマッチングができる。	歩行が不安定で転びやすい。 飽きているとき、気になるものがあるとすぐに触ってしまう。 内容が難しい課題のとき、姿勢保持の時間が短く、伏せてしまう。
家庭・他	なんでもよく食べる。 学校であったことを報告できる。 祖母になついている。	慣れていない場所では落ち着かない。 なんでも触りたがる。 事実と異なる内容を話すことがある。 すぐに疲れてしまい、途中で眠ってしまうことがある。

以前の支援と結果	学校	プリントが1枚終わると絵を1枚描いてよいというルールを作ってから、遅刻や欠席が減少している。 道具を危険に扱って、ケガをすることが増えてきた。
	家庭	ホワイトボードに朝の予定表を書くと、手助けを減らしても着替えや洗顔をできるようになった。
	他	

支援方針と今後の方針	長期目標	支援級では、毎時間4枚以上のプリント学習を行う。		
	短期目標	支援級では、毎時間3枚以上のプリント学習を行う。		
	支援方針	安全を図るために大人が付き添う。 飽きないように、短時間で達成できる課題を多めに用意して、適宜切り替える。		
		誰が	期限/期間	支援方法
	学校	支援級担任	5月まで	「教えて」「できた」「飽きた」と伝えたり報告できたときに、ほめる。
		支援員	5月まで	プリント学習が止まっているときに「教えて?って聞けるといいね」と伝える。
家庭				
地域・連携機関等				

継続

経過観察

終結(年 月 日)

上記のことについて確認しました。

保護者氏名 〇〇〇〇

「逗子市の支援教育」の内容を転載ご希望の方は、教育研究所まで、
メール(kenkyu@city.zushi.kanagawa.jp)でご連絡ください。

逗子市教育委員会 教育研究所（引越し中）

〒249-0005 神奈川県逗子市桜山 5-20-29 青少年会館 3階



〒249-0006 神奈川県逗子市逗子 5-4-33 逗子会館

電話 046-872-2898

（電話番号は引越し中も変わりません）

発行 平成 28 年 1 月